

鳥取と沖縄の違いを 体感

大山町・嘉手納町児童交流

8月4日から7日まで「大山町・嘉手納町人材育成交流事業」が行われました。これは、生活習慣の異なるお互いの町に児童を派遣し、交流を通じて友情を養い、次代の人材育成を図ることを目的として夏と冬に交流事業を行っているものです。

今回は大山町の児童16人が嘉手納町を訪問。鳥取とは異なる文化や自然を体感しました。また、沖縄地上戦の体験者から話を聞き、あらためて平和の大切さを実感するとともに、嘉手納町の人たちの温かさにもふれ、4日間さまざまな事を学ぶことができました。



▶戦争の犠牲者にお祈り



▶嘉手納町児童とスイカ割りで交流

親子木工教室開催 大山公民館

「夏休みの思い出づくりに」と8月9日に親子木工教室を行いました。

木工教室は大山プレカット協業組合の協力をいただき、今年で7回目。18組40人の親子の参加があり、思い思いの作品作りにチャレンジしました。「暑さなんかヘッチャラだ」と子どもたちは真剣そのものでした。

「毎年、この教室を子どもが楽しみにしています」と話すお母さん。子どもに指を叩かれ、それでも痛さを堪えるお父さん。木の香りが漂う中、親子のふれあいがいっそう深まりました。

好評をいただき、来年も実施を予定しています。ぜひご参加ください。



▲「おさえててね、お父さん」

▶大山町・嘉手納町児童・関係者のみなさん



小学生の踊りの輪 広がる

中山いさい踊り保存会主催の「いさい踊り盆踊り大会」を8月18日に中山公民館で行いました。

今年も地元企業・団体の支援をいただき、「第2回小学生いさいおどりコンテスト」を併せて行いました。

コンテストに参加した26人の小学生は一生懸命「いさい踊り」を踊ったり、太鼓をたたいたりしました。元気な小学生の輪に来観者も加わり、やぐらの周りいっぱい大き



▲輪になってみんなで踊ろう！

な輪が広がりました。子どもたちの明るい声とまわりからのかけ声に包まれ、にぎやかな一夜になりました。